

連結決算説明

(平成23年3月期第2四半期累計期間)



執行役員 企画本部長

木村 茂

平成22年 11月9日

平成23年3月期第2四半期累計連結決算概要

(億円)	23年3月期 2Q累計	22年3月期 2Q累計	増減	
	金額	金額	金額	%
売上高	4,490	4,446	44	1.0
営業利益	9.6% 432	7.5% 331	100	30.3
当社株主に帰属する 純利益	5.7% 257	4.3% 193	64	33.1

期初予想比増減	
金額	%
▲ 10	▲ 0.2
32	7.9
17	7.1

(億円)	23年3月期2Q末	22年3月期末	増減	
	金額	金額	金額	%
総資産	13,574	14,090	▲ 517	▲ 3.7
株主資本	6,268	6,264	4	0.1

事業セグメント別売上高

(億円)		23年3月期 2Q累計	22年3月期 2Q累計	前期比増減	
				金額	%
機 械	国 内	1,210	1,161	49	4.2
	海 外	2,097	1,937	160	8.3
	計	3,307	3,098	209	6.8
水・環境システム	国 内	684	774	▲ 90	▲ 11.7
	海 外	63	132	▲ 69	▲ 52.2
	計	747	906	▲ 159	▲ 17.6
社会インフラ	国 内	233	236	▲ 4	▲ 1.6
	海 外	80	85	▲ 5	▲ 5.9
	計	312	321	▲ 9	▲ 2.7
そ の 他	国 内	122	115	6	5.5
	海 外	3	7	▲ 4	▲ 54.3
	計	125	122	3	2.3
合 計		4,490	4,446	44	1.0
国 内		2,248	2,286	▲ 38	▲ 1.7
海 外		2,243	2,160	83	3.8

▶機械 +209億円(国内:+49 海外:+160)

- ◇国内:トラクタ、作業機は微増。エンジン、建機は大幅増
- ◇海外:トラクタ、作業機は微増。建機、エンジンは大幅増
地域別では、欧州は二桁増、北米・アジアは一桁増

▶水・環境システム ▲159億円(国内:▲90 海外:▲69)

- ◇国内:官公需低迷によりパイプ関連、環境関連ともに減
- ◇海外:鉄管は中東向け輸出が大幅減。バルブ、ポンプも減

▶社会インフラ ▲9億円(国内:▲4 海外:▲5)

- ◇国内:設備投資減少を受け鋼管が大幅減。電装、空調は増
- ◇海外:素形材が化学プラント向け製品で減

▶その他 +3億円(国内:+6 海外:▲4)

- ◇工事は海外で減

(億円)	23年3月期 2Q累計		22年3月期 2Q累計		増減	
	金額	%	金額	%	金額	%
営業利益	432	9.6	331	7.5	100	30.3

営業利益の差異(+100億円)の主な要因

1. 為替変動(円高)

米ドル(95円→91円)	▲35億円	}	▲60億円
ユーロ(127円→121円)	▲20億円		
タイバーツ(2.73円→2.80円)	±0億円		
他通貨(加ドル、英ポンド等)	▲5億円		

2. 原材料価格

機械(買入部品 他)	+40億円	}	+35億円
水・環境、社会(鉄スクラップ 他)	▲5億円		

3. 年金一時費用の消滅

+40億円

4. 増収ほか

+85億円

特殊要因を除いた営業利益

(左肩は利益率)

(億円)	23年3月期2Q累計			22年3月期2Q累計			実績 営業利益 増減 ①-④	修正後 営業利益 増減 ③-⑥	売上高 増減
	実績 ①	特殊要因 ②	修正後 ③=②-①	実績 ④	特殊要因 年金費用 (注) ⑤	修正後 ⑥=④-⑤			
機械	14.1% 466	-	14.1% 466	10.6% 328	▲ 20	11.2% 348	138	118	209
水環境	2.8% 21	-	2.8% 21	6.6% 60	▲ 12	7.9% 72	▲ 39	▲ 51	▲ 159
社会	6.1% 19	-	6.1% 19	6.9% 22	▲ 4	8.2% 26	▲ 3	▲ 7	▲ 9
その他	6.1% 8	-	6.1% 8	9.2% 11	0	9.2% 11	▲ 4	▲ 4	3
調整	▲ 82	-	▲ 82	▲ 90	▲ 4	▲ 87	8	4	
計	9.6% 432	-	9.6% 432	7.5% 331	▲ 40	8.3% 371	100	61	44

(注) 23年3月期年金費用の22年3月期比減少額

その他の収益(▲費用)

(億円)	23年3月期2Q累計	22年3月期2Q累計	増減
	金額	金額	金額
その他の収益(▲費用)	▲ 1	2	▲ 3



(内訳)

金融収支	12	6	6
有価証券売却損益	1	3	▲ 2
有価証券交換益	28	—	28
為替差損益	▲ 38	9	▲ 47
その他	▲ 5	▲ 16	12

4/1付で旧ニッセイ同和損害保険株がMS&ADインシュアランスグループホールディングス株に交換

税金等調整前純利益・純利益

(億円)	23年3月期 2Q累計		22年3月期 2Q累計		増減	
	金額	%	金額	%	金額	%
税金等調整前純利益	430	9.6	333	7.5	98	29.3
法人所得税	147		110		▲ 37	
(実効税率)	(34.2%)		(33.1%)			
持分法による投資損益	5		3		2	
非支配持分控除前純利益	289	6.4	226	5.1	63	27.7
非支配持分帰属損益(控除)	32		33		1	
当社株主に帰属する純利益	257	5.7	193	4.3	64	33.1

貸借対照表(資産)

(億円)	23年3月期2Q末	22年3月期末	増減
流動資産	7,698	8,208	▲ 511
現金及び預金	1,037	1,114	▲ 78
受取債権	3,355	3,721	▲ 366
短期金融債権	1,045	1,048	▲ 3
たな卸資産	1,747	1,723	24
その他の流動資産	514	602	▲ 88
投資及び長期金融債権	3,191	3,217	▲ 26
長期金融債権	2,042	1,965	78
その他	1,149	1,253	▲ 104
有形固定資産	2,161	2,209	▲ 48
その他	524	456	69
資産合計	13,574	14,090	▲ 517
金融債権 計	3,088	3,013	75

貸借対照表(負債・純資産)

(億円)	23年3月期2Q末	22年3月期末	増減
流動負債	4,126	4,402	▲ 276
短期借入金	573	883	▲ 310
仕入債務	1,570	1,579	▲ 9
一年内長期債務	854	714	140
その他	1,129	1,225	▲ 97
固定負債	2,718	2,972	▲ 254
長期債務	2,255	2,433	▲ 179
未払年金等	359	402	▲ 42
その他	104	137	▲ 33
負債計	6,844	7,374	▲ 530
資本金	841	841	-
準備金・剰余金計	6,054	5,861	193
その他包括損益累計額	▲ 534	▲ 345	▲ 189
自己株式	▲ 93	▲ 93	▲ 0
株主資本	6,268	6,264	4
非支配持分	462	452	10
純資産計	6,730	6,716	14
負債及び純資産合計	13,574	14,090	▲ 517
有利子負債計	3,682	4,031	▲ 349

キャッシュ・フロー計算書

(億円)	23年3月期 2Q累計	22年3月期 2Q累計	増減
営業活動による純キャッシュ・フロー	532	419	113
固定資産の購入	▲ 122	▲ 110	▲ 12
その他	▲ 165	▲ 96	▲ 69
投資活動による純キャッシュ・フロー	▲ 287	▲ 206	▲ 81
財務活動による純キャッシュ・フロー	▲ 305	20	▲ 325
為替変動による現金及び現金同等物への影響	▲ 18	15	▲ 33
現金及び現金同等物の増減額	▲ 78	249	▲ 326
フリーキャッシュ・フロー	410	309	101

事業の動向

■ タイ

- 販売:トラクタ販売は6月以降改善の兆し。
しかしながら深刻な洪水の影響が懸念材料

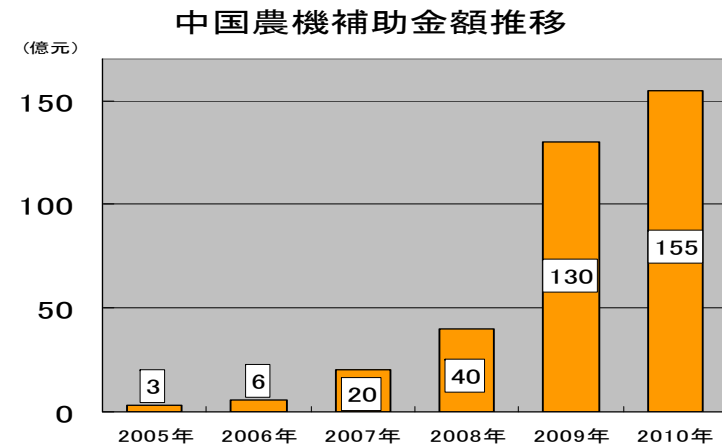
要因	前半の状況	足もと
① 天候不順	干ばつで北部を中心に水不足。 田植を制限される地域も発生	雨季で水不足は解消され、作付け開始したが、 10月の洪水が大きな影響を与える可能性
② 米価	前年度より概ね2割程度下落。 輸出米価格では '09年:600ドル前後→'10年6月:460ドル	'10年6月を底に反転し、 10月末で510ドル前後まで回復
③ 政情不安	4~5月のデモが販売にも影響	ほぼ正常化

- 製造:トラクタ生産(2009年2万台→2010年2.9万台予定)
→7月から45馬力クラスのトラクタ製造をタイに移管
汎用コンバイン専用工場建屋完成。2011年本格生産へ着々と準備
エンジン鋳物工場 2011年量産開始
- 組織再編:本年8月にタイ子会社を合併。(サイアムクボタコーポレーション:SKC)
アジア戦略の中心拠点とする

■ 中国

- 農機補助金: 予算枠拡大
(130億元→155億元)

ただし自脱型コンバインは
普及が進み補助額減少



- 農機: 自脱型コンバイン依存から脱却し、トラクタ、田植機、汎用型コンバインの成長を促進
 - 汎用コンバイン・・・菜種収穫用を投入、販売は好調
 - 田植機・・・機種種の拡充
 - トラクタ・・・2機種投入、計画どおりの販売乗用型田植機も現地生産へ
- 建機: 無錫に工場建設を決定、2012年からの操業予定(約4千台/年)
販売は上期大幅に伸張、農機の販売減をカバー

■ 米国

当社販売は市場をアウトパフォーム、シェア奪回

- 市場：販売動向は月毎に一進一退、9ヶ月累計でほぼ前年並み

【市場小売台数伸長率(前年同期比)】

出展：AEM(Association of Equipment Manufacturer)

(%)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	9ヶ月累計
0-40hp	▲ 1.1	▲ 6.4	+ 16.4	+ 14.1	+ 9.3	▲ 9.8	▲ 5.4	+ 4.2	▲ 1.7	+ 3.9
40-100hp	▲ 8.3	▲ 17.2	▲ 8.6	▲ 8.2	+ 2.7	▲ 8.9	+ 3.1	+ 10.6	▲ 8.7	▲ 5.2

- 製品：廉価版機種を投入し好評
建設機械もコンパクトトラックローダーを上市しライン拡充
- 販促：ローン金利0%キャンペーンを強力に推進、販売を援護
- 店頭在庫：6月末時点で若干少なめ、後半は積み増しへ
- エンジン：OEM先の需要が予想以上の回復

■ カナダ

競争激化と在庫調整で販売低迷

■ 欧州

トラクタの売上減を建機・エンジンがカバーし増収

- トラクタ:官公需向け(芝刈機)、農業向けともに販売が振るわず
- 建機:欧州全体の需要は上昇基調。
当社販売も年初の予想を上回り推移
- エンジン:主要OEMを中心に需要は堅調。ユーロ安によるOEM供給先企業の輸出好調も後押し

■ 日本

農機は前年並み、建機・エンジンは回復

- 日農工統計：需要は底堅く推移。9月以降は前年のリース補助金の反動も

日農工統計(国内向出荷)-前年同月比増減(%)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	9ヶ月累計
2009年	▲ 2.5	+ 8.7	+ 3.3	▲ 12.3	▲ 16.1	▲ 22.1	▲ 24.9	▲ 0.3	+ 33.1	▲ 3.5
2010年	+ 8.6	▲ 2.9	▲ 7.9	+ 18.0	+ 16.4	▲ 3.0	▲ 2.4	▲ 1.1	▲ 7.2	▲ 0.5

- 農機製品：パワクロ新製品、アジア共通設計コンバイン、120周年特別仕様車などを投入
- 建機：前年買い控えの反動により、需要2桁増
- エンジン：OEM先の輸出(主に新興国向け)好調。円高は懸念材料

業績予想

平成23年3月期業績予想

(億円)	23年3月期 (予想)	22年3月期 (実績)	前期比増減	23年3月期 (期初予想)
売上高	10,000	9,306	694	10,000
営業利益	9.0% 900	7.5% 697	203	9.0% 900
その他の収益(▲費用)	0	38	▲ 38	0
税金等調整前純利益	9.0% 900	7.9% 735	165	9.0% 900
当社株主に帰属する純利益	5.2% 520	4.5% 423	97	5.2% 520

売上高: (+694億円/前期比)

国内(前期比+24、期初予想比▲70):

期初予想比では、機械、水環境、社会インフラが減収

海外(前期比+670、期初予想比+70):

期初予想比では、機械、水環境が増収、社会インフラが減収

営業利益: (+203億円/前期比)

1. 為替変動(円高)

米ドル(94円→87円)

▲120億円

ユーロ(130円→116円)

▲50億円

タイバーツ(2.73円→2.75円)

▲5億円

他通貨(加ドル、英ポンド等)

▲5億円

▲180億円

2. 原材料価格

機械(買入部品 他)

+40億円

水・環境、社会(鉄スクラップ 他)

▲10億円

+30億円

3. 年金一時費用の消滅

+88億円

4. 増収ほか

+265億円

事業セグメント別売上高予想

(億円)		23年3月期 (予想)
国	内	2,340
海	外	4,630
機 械	計	6,970
国	内	1,960
海	外	150
水環境システム	計	2,110
国	内	465
海	外	175
社会インフラ	計	640
国	内	275
海	外	5
そ の 他	計	280
合	計	10,000
国	内	5,040
海	外	4,960

22年3月期 (実績)	前期比増減	
	金額	%
2,296	44	1.9
3,871	759	19.6
6,167	803	13.0
1,981	▲ 21	▲ 1.1
249	▲ 99	▲ 39.5
2,229	▲ 119	▲ 5.3
470	▲ 5	▲ 1.1
163	12	7.4
633	7	1.1
269	6	2.2
8	▲ 3	▲ 37.5
277	3	1.1
9,306	694	7.5
5,016	24	0.5
4,290	670	15.6

23年3月期 (期初予想)	期初予想比増減	
	金額	%
2,380	▲ 40	▲ 1.7
4,550	80	1.7
6,930	40	0.6
1,980	▲ 20	▲ 1.0
145	5	3.3
2,125	▲ 15	▲ 0.7
480	▲ 15	▲ 3.2
190	▲ 15	▲ 8.6
670	▲ 30	▲ 4.7
270	5	1.8
5	0	0.0
275	5	1.8
10,000	0	0.0
5,110	▲ 70	▲ 1.4
4,890	70	1.4

事業セグメント別営業利益予想

特殊要因を除いた営業利益

期初予想比 +10

(左肩は利益率)

(億円)	23年3月期(予想)			22年3月期(実績)			予想 営業利益 増減 ①-④	修正後 営業利益 増減 ③-⑥	売上高 増減
	予想 ①	特殊要因 ②	修正後 ③=②-①	実績 ④	特殊要因 年金費用 (注) ⑤	修正後 ⑥=④-⑤			
機械	11.9% 830	-	11.9% 830	9.8% 605	▲ 47	10.6% 652	225	178	803
水環境	8.1% 170	-	8.1% 170	8.8% 197	▲ 23	9.9% 220	▲ 27	▲ 50	▲ 119
社会	6.3% 40	-	6.3% 40	4.3% 27	▲ 11	5.9% 38	13	2	7
その他	7.1% 20	-	7.1% 20	9.5% 26	0	9.5% 26	▲ 6	▲ 6	3
調整	▲ 160	-	▲ 160	▲ 158	▲ 7	▲ 151	▲ 2	▲ 9	
計	9.0% 900	-	9.0% 900	7.5% 697	▲ 88	8.4% 785	203	115	694

(注) 23年3月期年金費用の22年3月期比減少額

期初予想比 ▲10

想定為替レート

	(円)	23年3月期		22年3月期 実績
		今回見直し	期初計画	
円/米ドル	1-6月 (上期)	実績 91	90	95
	7-9月 (下期前半)	実績 86	-	94
	10-12月 (下期後半)	予想 80	-	90
	7-12月 (下期)	予想 83	90	92
	1-12月 (年間)	予想 87	90	94
円/ユーロ	1-6月 (上期)	実績 121	125	127
	7-9月 (下期前半)	実績 111	-	134
	10-12月 (下期後半)	予想 110	-	133
	7-12月 (下期)	予想 110	125	133
	1-12月 (年間)	予想 116	125	130
円/タイバーツ	1-6月 (上期)	実績 2.80	2.65	2.73
	7-9月 (下期前半)	実績 2.71	-	2.76
	10-12月 (下期後半)	予想 2.70	-	2.70
	7-12月 (下期)	予想 2.71	2.65	2.73
	1-12月 (年間)	予想 2.75	2.65	2.73

<参考> 設備投資・減価償却費・研究開発費

(億円)	23年3月期(予想)		22年3月期 実績
	今回見直し	期初計画	
設備投資	320	350	260
減価償却費	271	284	289
研究開発費	250	260	252

【将来予測に関する免責事項】

本資料で記述されている業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

Kubota

For Earth, For Life